



施工業者様用

〈施工説明書〉

H20 H24 3方枠 片引き戸・引き違い戸・引き分け戸(上吊り)専用枠材

ドレタス

固定枠 155mm幅・170mm幅

[標準] 片側ソフトクローズ [オプション] 両側ソフトクローズ・ソフトクローズ無し

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

両側ソフトクローズのトリガー位置が変わりますので、トリガー取付位置を必ず確認してください。

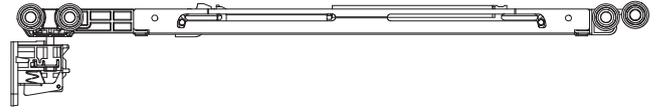
安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

<p>! 注意</p> <p>禁止</p>	<p>施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内専用。 屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。 ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。 インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。 ・ビスはビス穴に取り付ける。 ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。
<p>!</p> <p>必ずおこなう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開梱後は換気を行なう。 本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。 ・補強の飼木(現場調達)を入れる。 ソフトクローズ仕様の際は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。 ・躯体に欠点がないことを確認する。 枠材固定のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。 ・同梱の金具を使用する。 本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。
<p>お願い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。 ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット							
部材名		縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板付 (アルミ)	鴨居 レール (アルミ)
入数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	1本	—
	引き違い戸	2本	—	—	1本	1本	1本
	引き分け戸	—	2本	2本	1本	1本	—
備考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—



ビスセット(枠本体セットに同梱)								
部材名		袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	透明
			木ダボ 	組み立て ビス 	下枠固定 ビス 	躯体接合 金具ビス 	六角レンチ L50mm 	クッション キャップ
			セット品番					
入数	片引き戸	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個
	引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
	引き分け戸	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個
備考 (部材品番等)			—	—	使用しません	枠と躯体の 固定に 使用できます。	使用しません	—

固定枠上吊り鴨居用ビス			
部材名		袋の色	
		赤	
		組み立て ビス 	
		セット品番	
入数	片引き戸	ZY0202	4本
	引き違い戸		4本
	引き分け戸		4本
備考 (部材品番等)			—

金具セット(枠本体セットに同梱)【標準:片側ソフトクローズ】									
部材名		吊車	振れ止め 金具 (床付用)	戸じゃくり キャップ	引き分け ストッパー	上レール 取り付け ビス (皿ビス) 	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット)	
		セット品番							
入数	片引き戸	ZYTKS	1個	1個	2個	—	6本	1	1
	引き違い戸	ZYTHS	2個	2個	2個	—	12本	2	2
	引き分け戸	ZYTLS	2個	2個	2個	1個	12本	2	2
備考 (部材品番等)			ZYTF21	ZYTSG21	ZYTNC01	ZYTLS21	ZYTA01	ZYTSCS21	ZYTTG21

※両側ソフトクローズにしたい場合は下記セットをご発注ください。

金具セット(枠本体セットに同梱)【オプション:両側ソフトクローズ】									
部材名		吊車	振れ止め 金具 (床付用)	戸じゃくり キャップ	引き分け ストッパー	上レール 取り付け ビス (皿ビス) 	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス2本セット)	
		セット品番							
入数	片引き戸	ZYTKW	1個	1個	2個	—	6本	1	2
	引き違い戸	ZYTHW	2個	2個	2個	—	12本	2	4
	引き分け戸	ZYTLW	2個	2個	2個	1個	12本	2	4
備考 (部材品番等)			ZYTF21	ZYTSG21	ZYTNC01	ZYTLS21	ZYTA01	ZYTSCW21	ZYTTG21

両側ソフトクローズ
片引き戸 施工
7ページに進んでください。

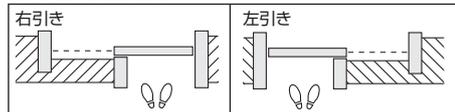
両側ソフトクローズ
引き違い戸 施工
12ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
引き分け戸 施工
17ページに進んでください。

引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。

※片引き戸の場合のみ。



片引き戸 施工...4ページに進んでください。

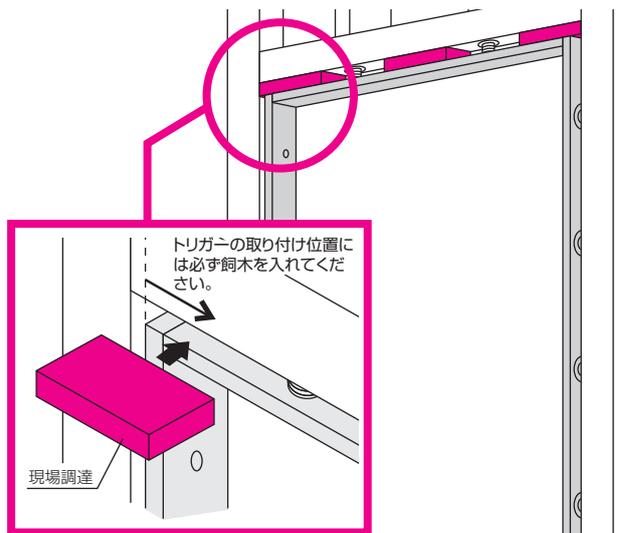
引き違い戸 施工...9ページに進んでください。

引き分け戸 施工...14ページに進んでください。

必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

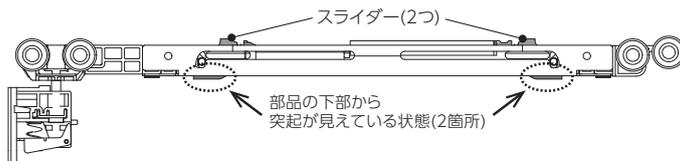


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

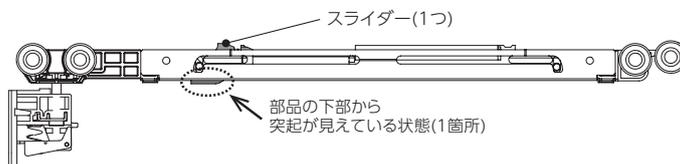
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けてください。

正常状態

両利きタイプ



片利きタイプ



※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

エラー状態

「カチッ」と音がするまでスライダーを引っ張ると「正常状態」になります。

両利きタイプ



片利きタイプの場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダーを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



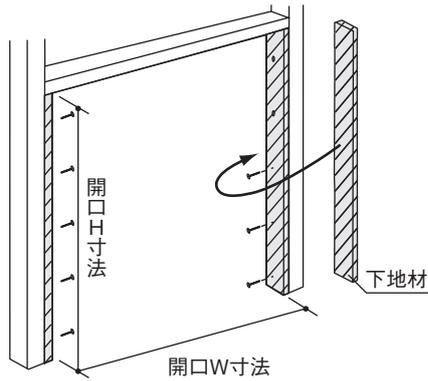
扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

施工手順

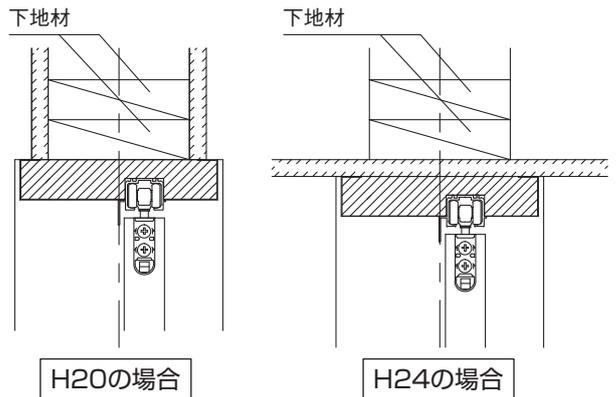
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



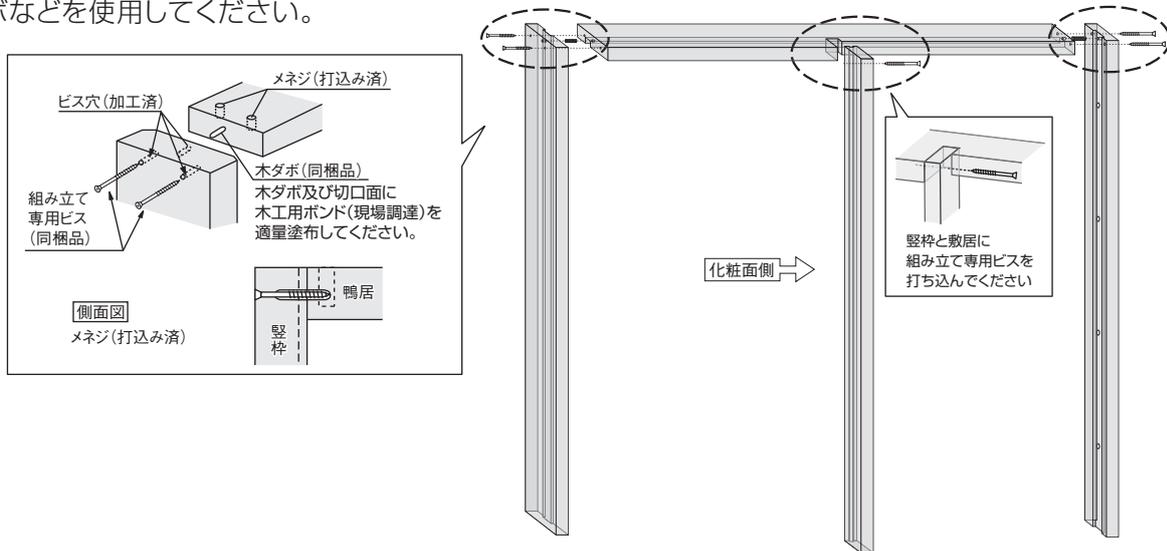
⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。



2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。

※ 下記の様なことがないようにご注意ください。

縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

⚠ 注意 ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

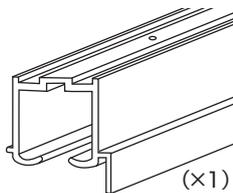
水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

▲ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 幕板と鴨居レールの取り付け
幕板付きの鴨居レール（アルミレール）になります。

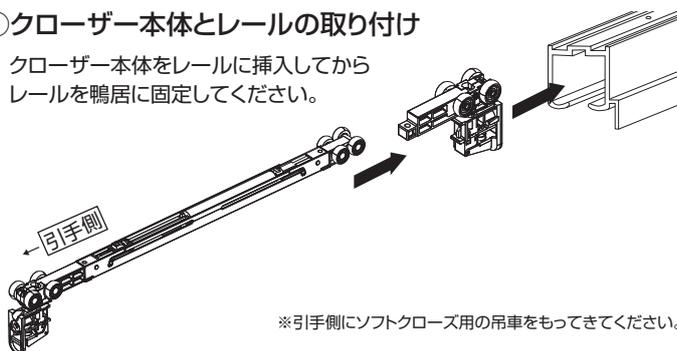
■ 吊車の挿入
鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。吊車を挿入した後、鴨居レールを枠にとりつけてください。



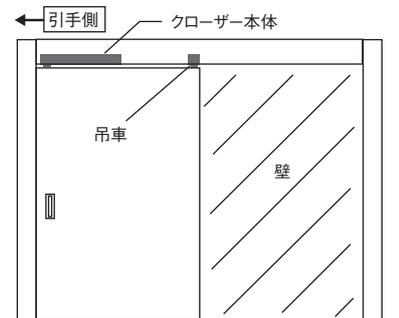
片側ソフトクローズ 仕様 標準

① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

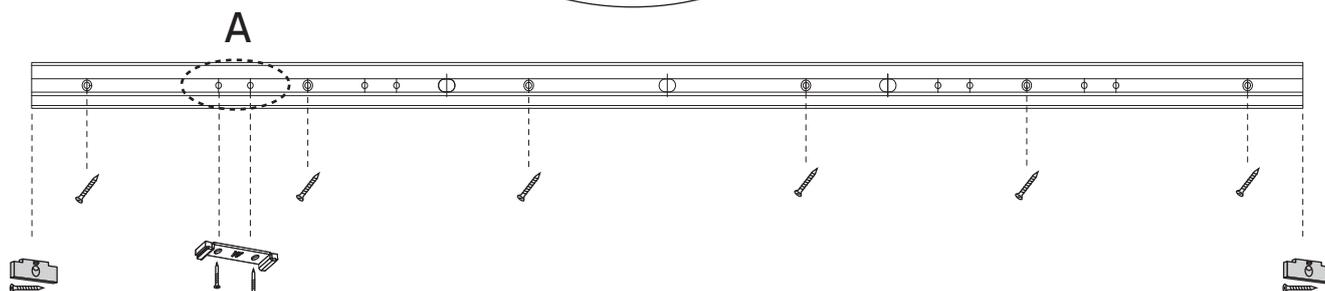
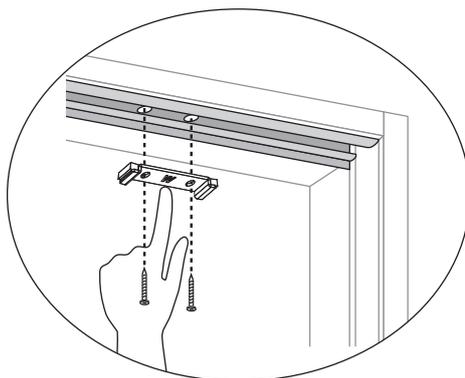
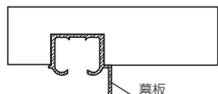


※引手側にソフトクローズ用の吊車をもってきてください。



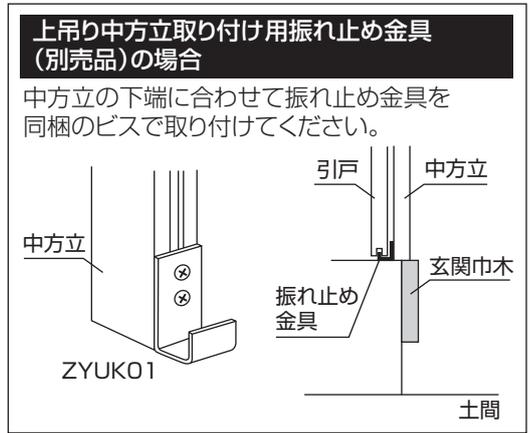
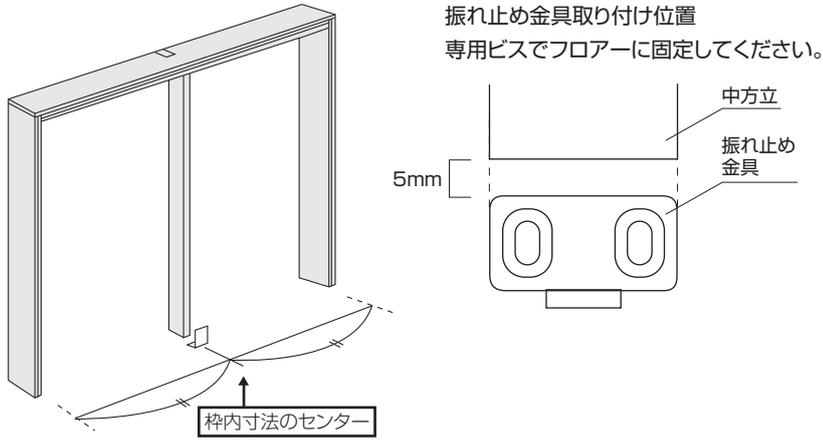
② 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

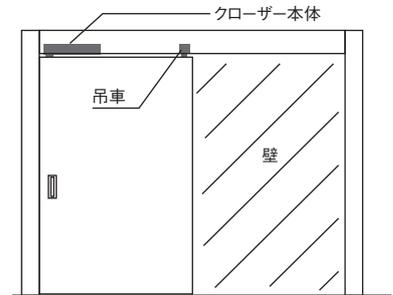
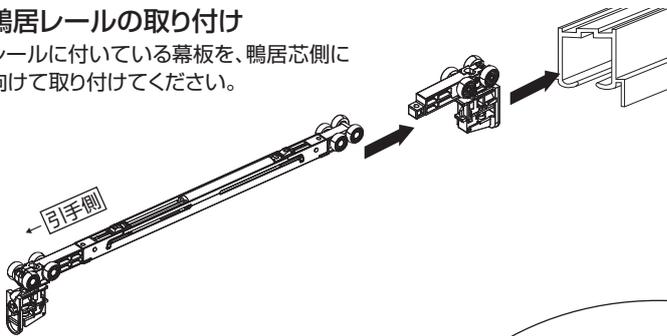
5 振れ止め金具の取り付け



両側ソフトクローズ 仕様 オプション

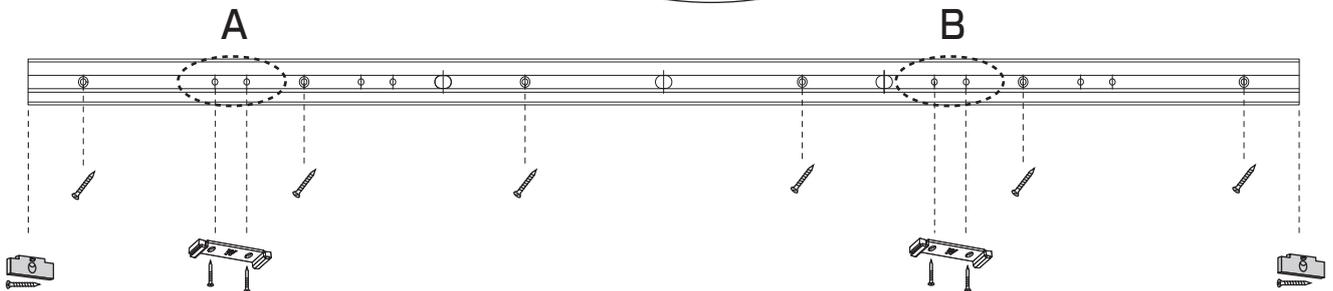
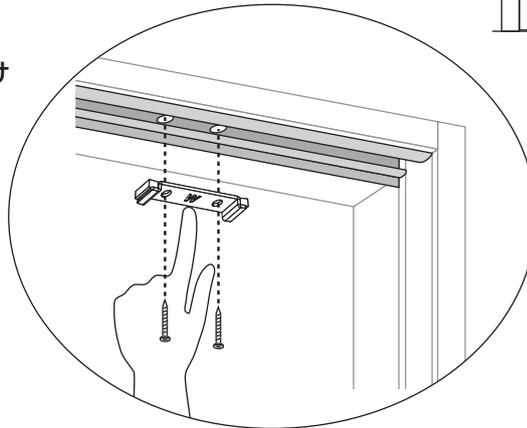
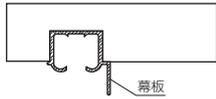
① 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



② クローザー本体とレールの取り付け

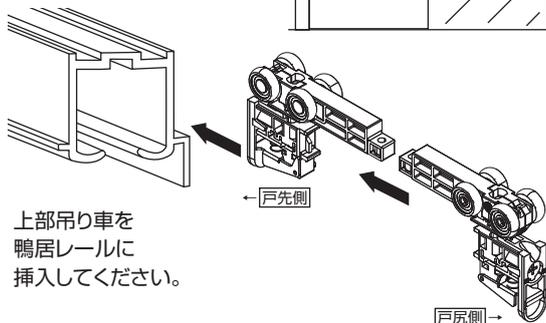
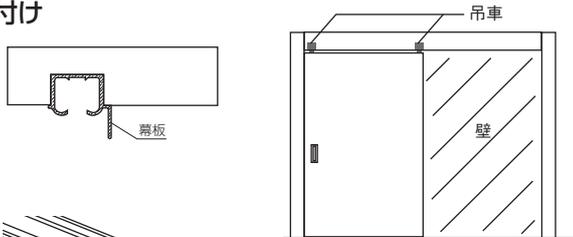
クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

① 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



上部吊り車を鴨居レールに挿入してください。

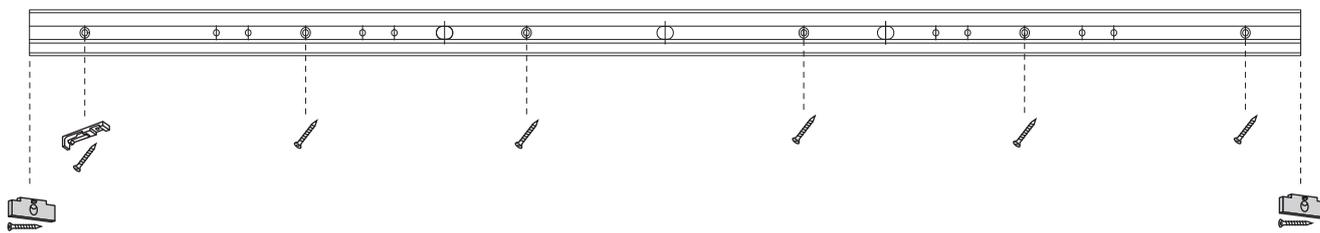
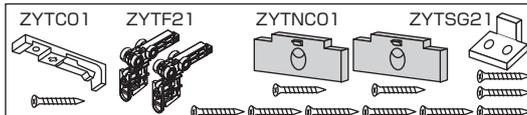
注意

レール取り付け後に吊り車の向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。



<同梱品>

上吊り片引き戸用金具セット(品番:ZYTKM)



※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

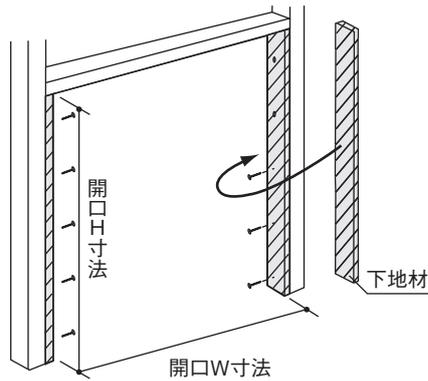
枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

施工手順

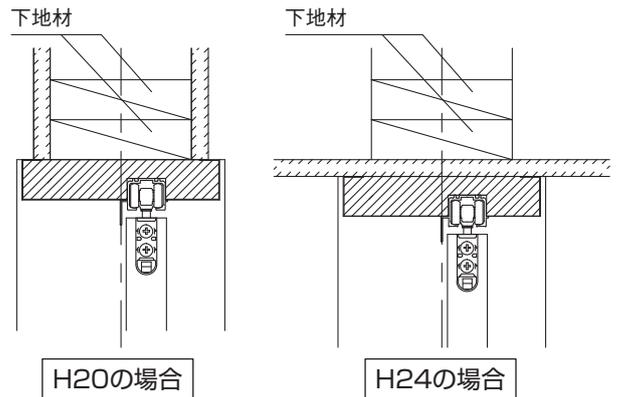
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



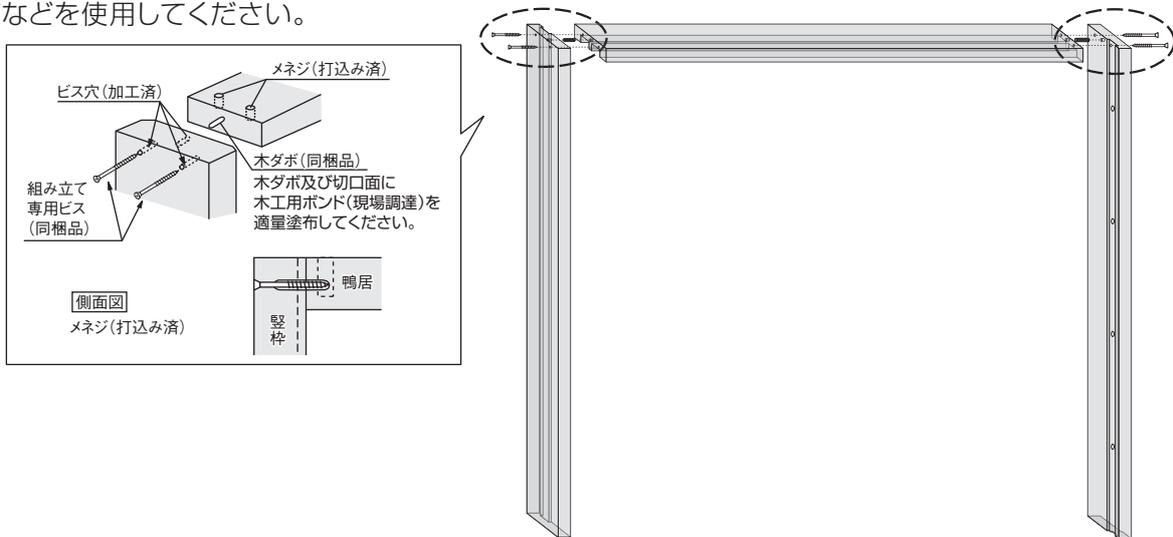
⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。



2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。

開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ねじれを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。

※下記の様なことがないようご注意ください。

内そり	外そり	前後たおれ
左右たおれ	ねじれ	

縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

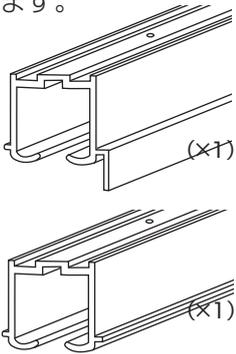
⚠ 注意 ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

水準器などを使用し、 $a=b$ となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■ 幕板と鴨居レールの
取り付け
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になり
ます。



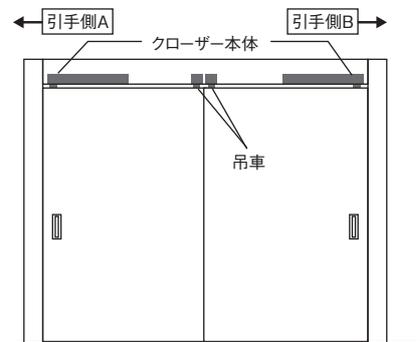
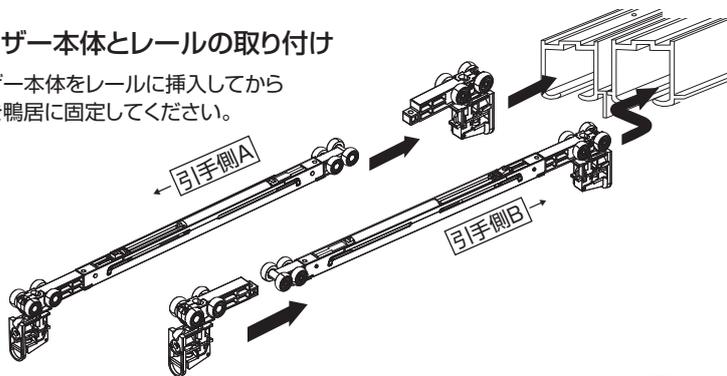
■ 吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。吊車を挿入した後、鴨居レールを枠にとりつけてください。

片側ソフトクローズ 仕様 標準

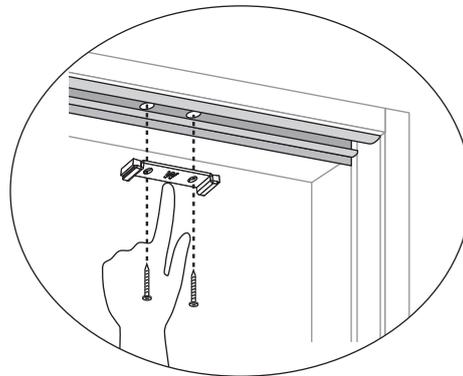
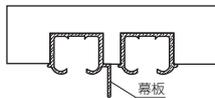
① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。

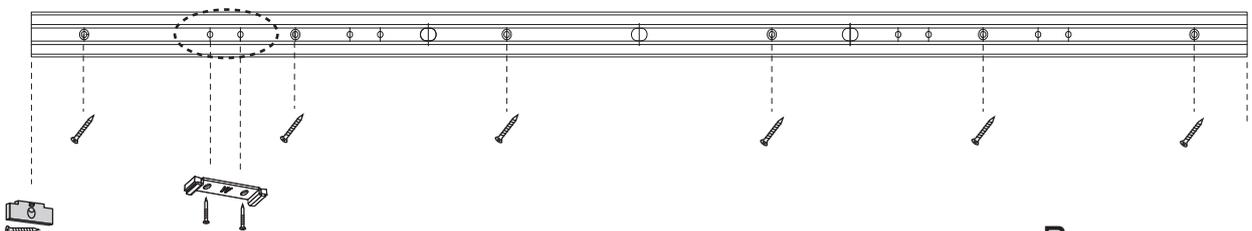


② 鴨居レールの取り付け

レールに付いている
幕板を、鴨居芯側
に向けて取り付け
てください。
引き違い戸では
片方のレールには
幕板はつきません。



←引手側 A A

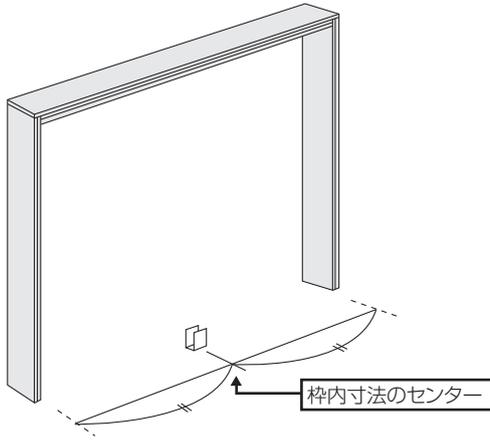


B 引手側 B →

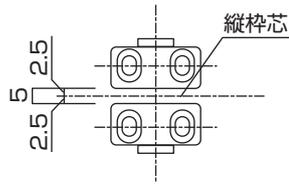


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



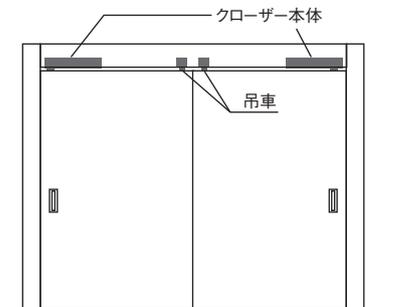
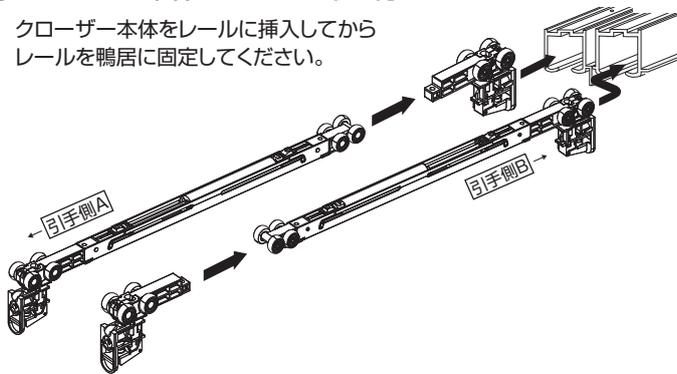
振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



両側ソフトクローズ 仕様 オプション

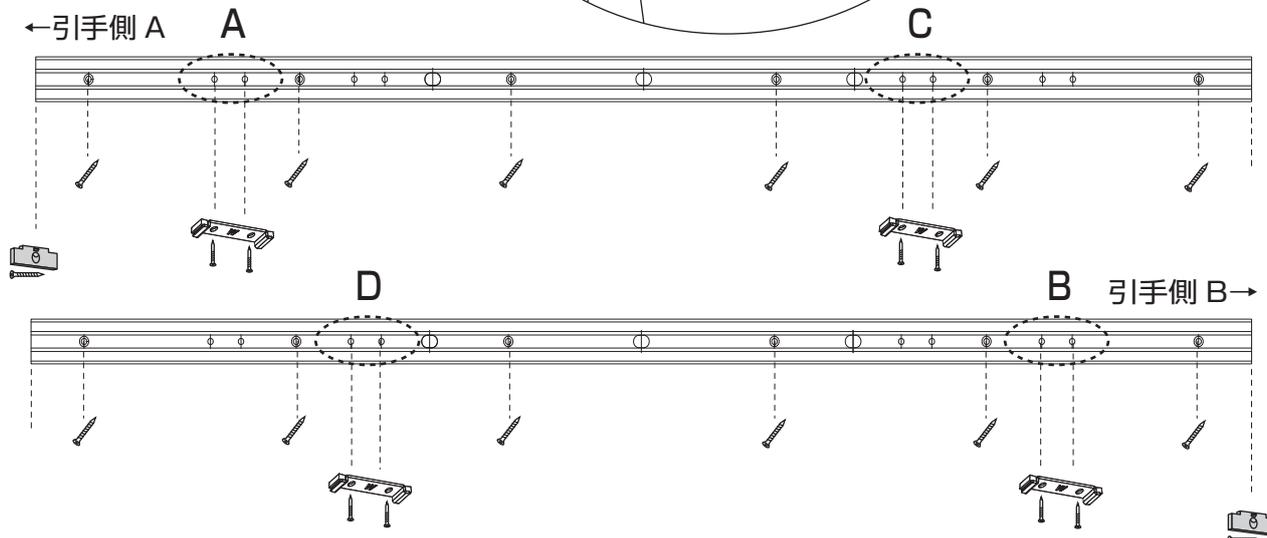
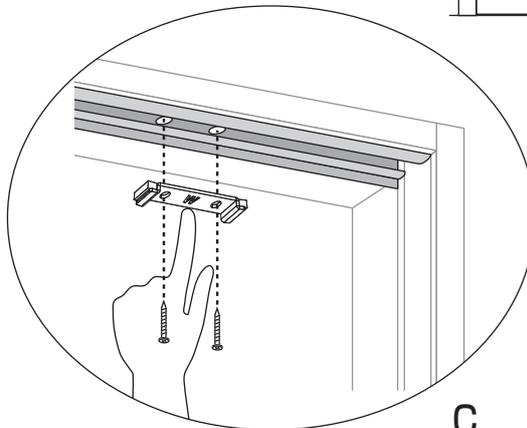
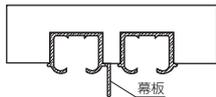
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

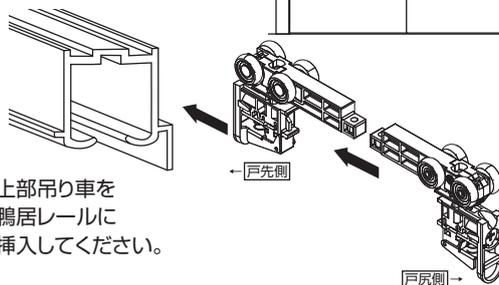
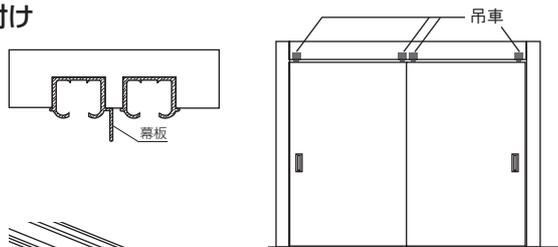
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて
取り付けてください。引き違い戸では片方の
レールには幕板はつきません。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

① 鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



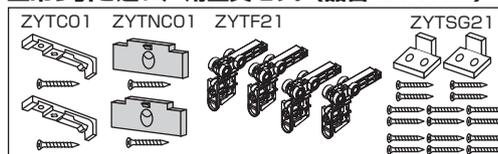
注意

レール取り付け後に吊り車の向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。

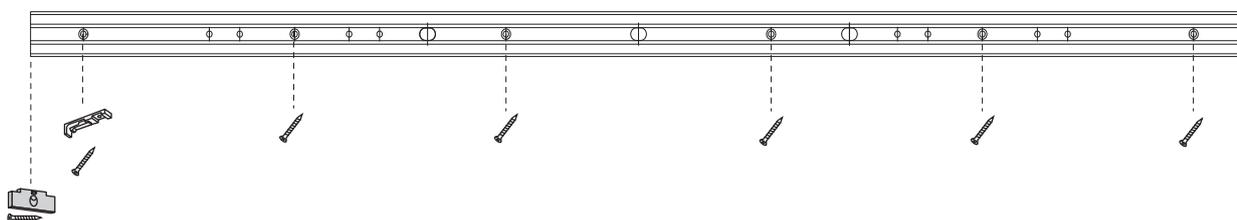


<同梱品>

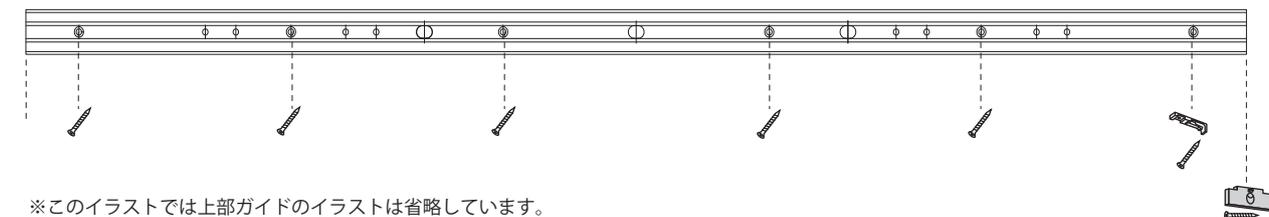
上吊り引き違い戸用金具セット (品番:ZYTHM)



←引手側 A



引手側 B→



※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

【引き分け戸】 納まり図

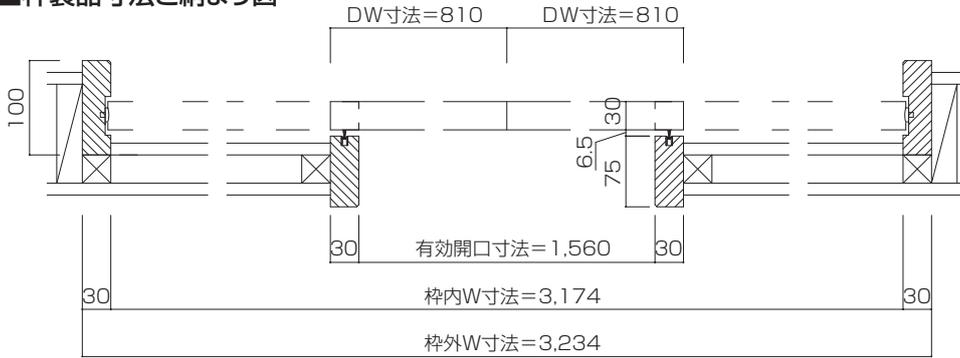
※170mm幅は対応していません。

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

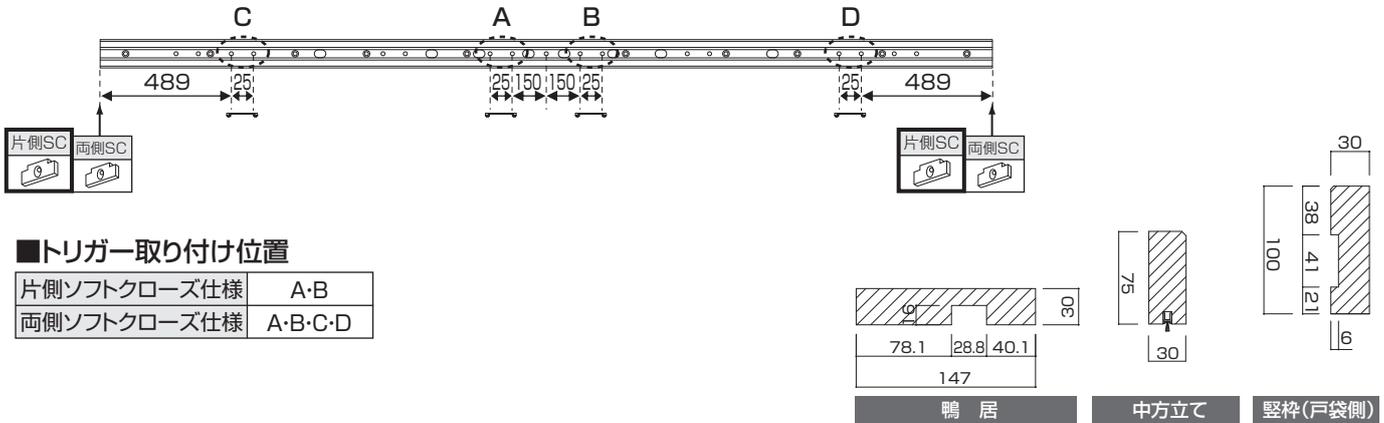
横断面図

■ 枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



■ レール詳細図



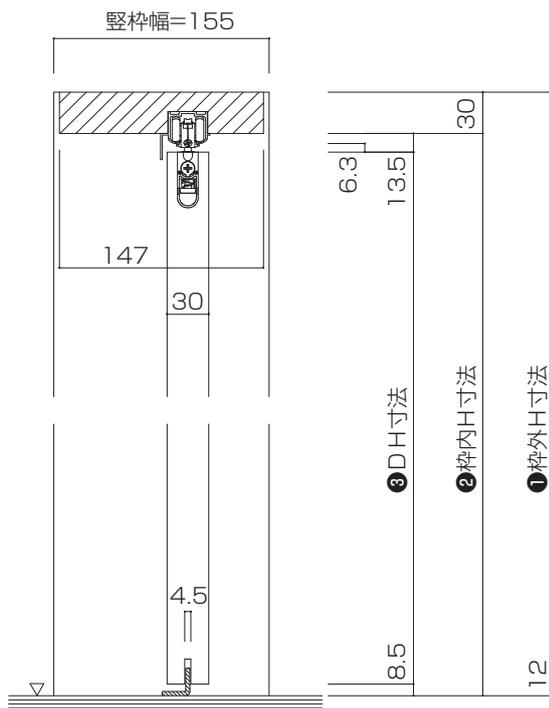
■ トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D

※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

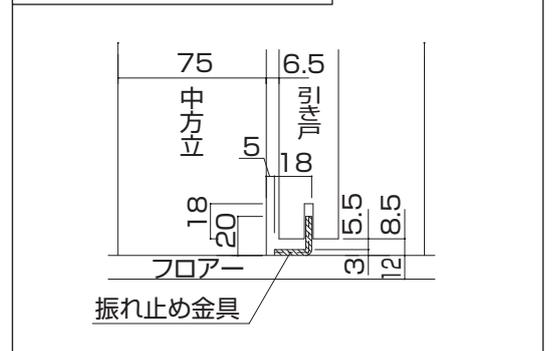
縦断面図

(単位:mm)



製品寸法	H20 DH1,983	H22 DH2,183	H24 DH2,348
① 枠外H寸法	2,035	2,235	2,400
② 枠内H寸法	2,005	2,205	2,370
③ DH寸法	1,983	2,183	2,348

振れ止め金具取り付け位置

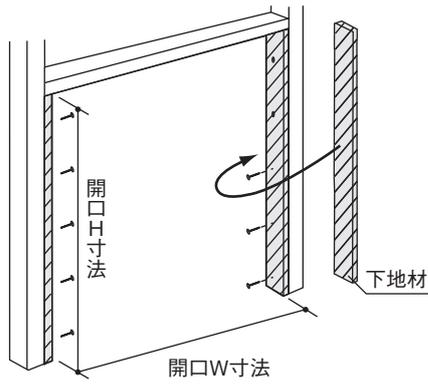


施工手順

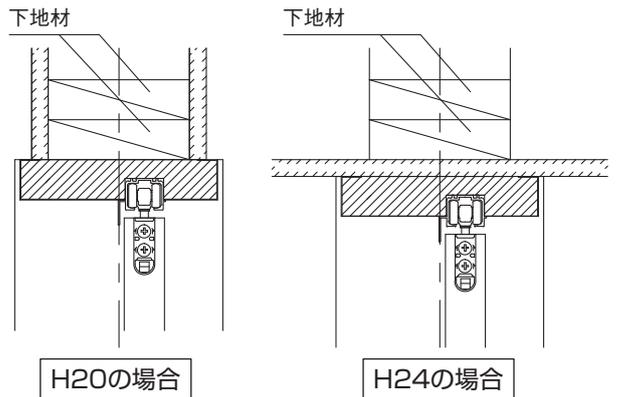
⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



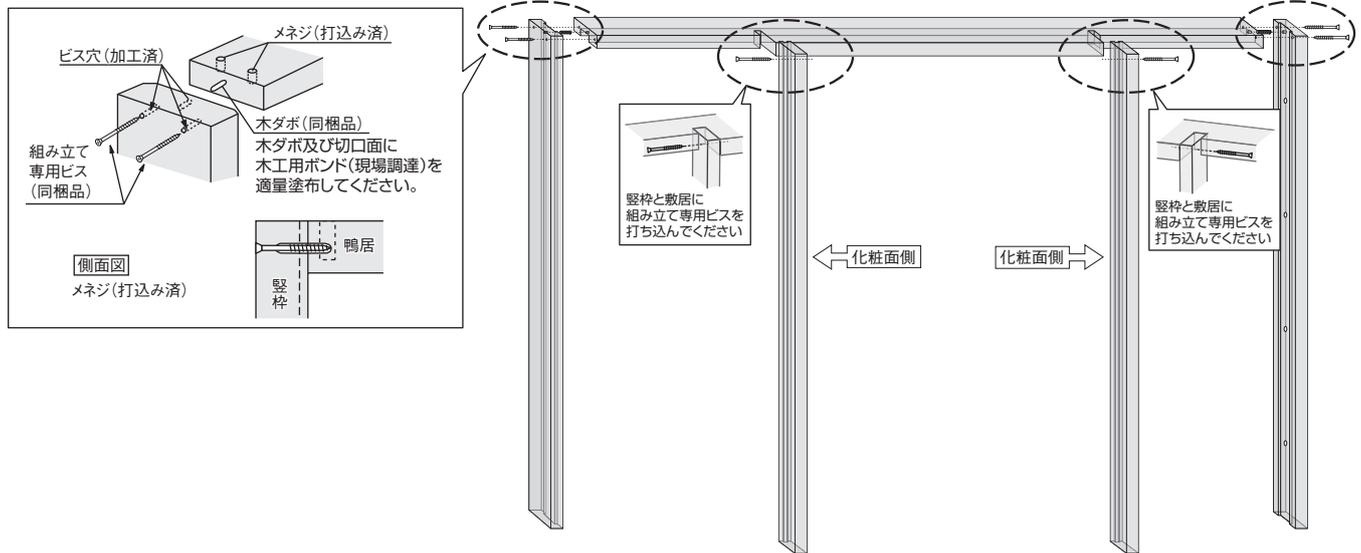
⚠ 注意 扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。



2 枠材の組み立て

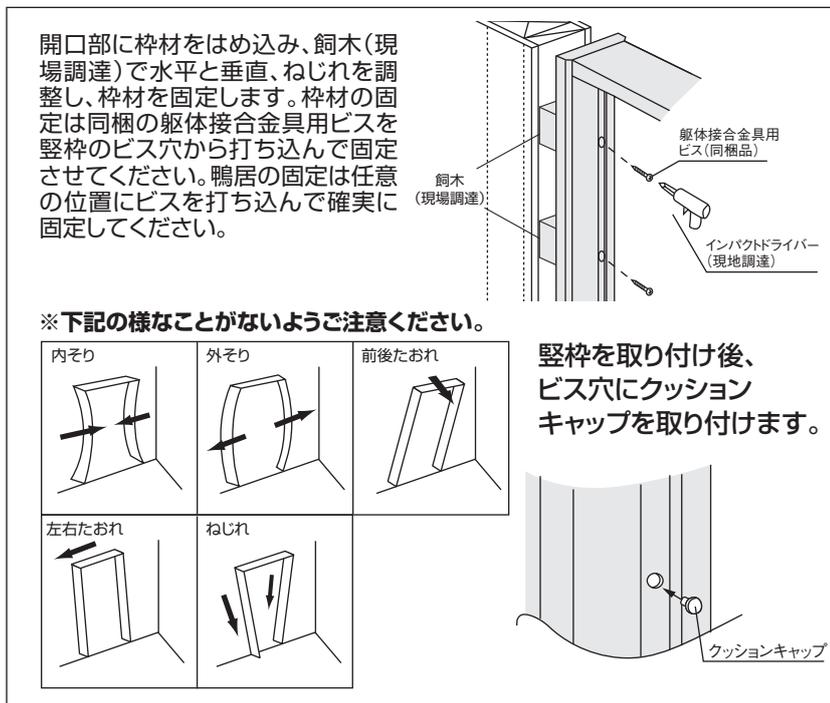
■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

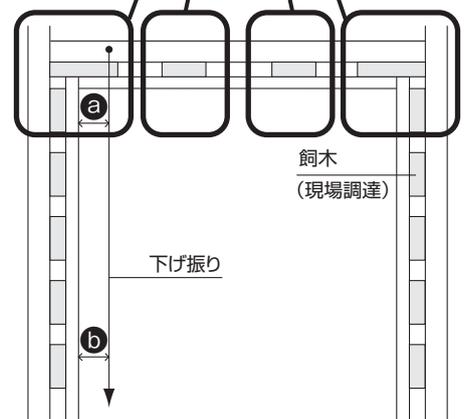


3 枠材の固定と建て付け調整

3方に組んだ枠材を開口部にセットしてください。



⚠ 注意 ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

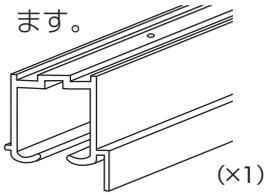


水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け
幕板付きの鴨居レール（アルミレール）になります。



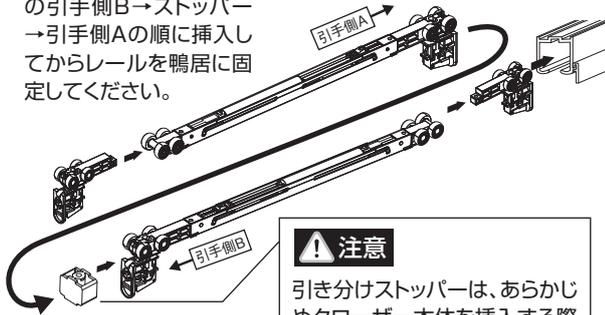
■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。吊車を挿入した後、鴨居レールを枠にとりつけてください。

片側ソフトクローズ 仕様 標準

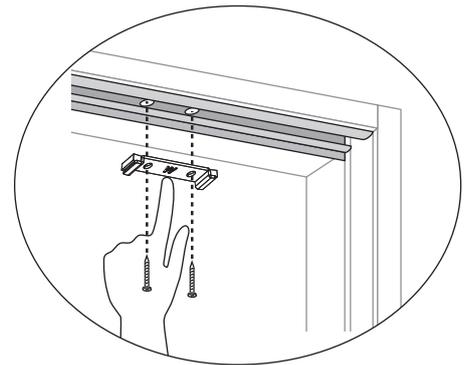
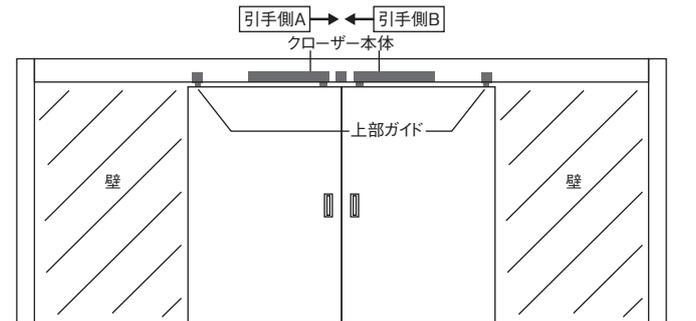
①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

レールにクローザー本体の引手側B→ストッパー→引手側Aの順に挿入してからレールを鴨居に固定してください。



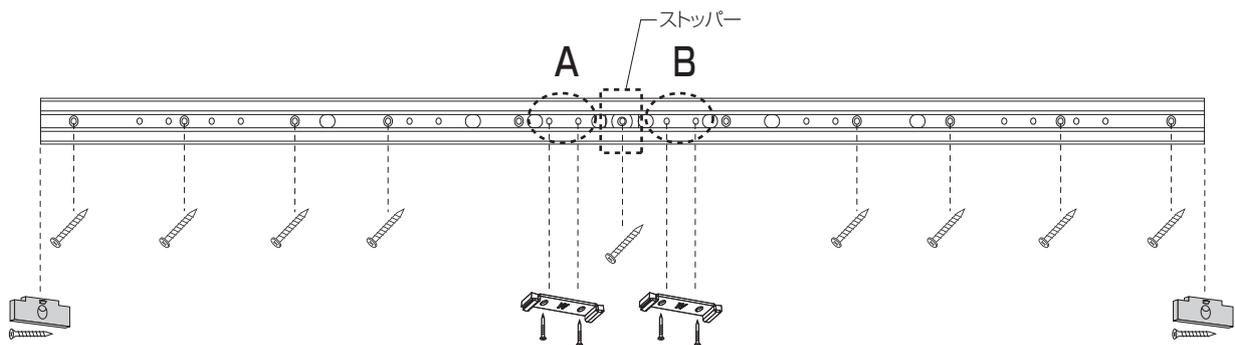
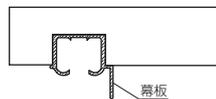
⚠ 注意

引き分けストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



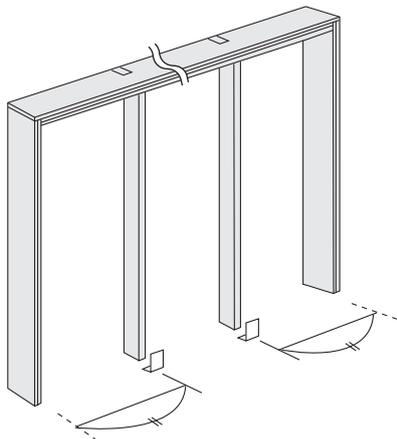
②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。

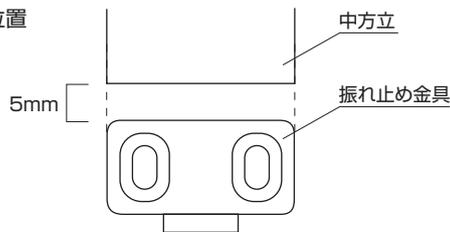


※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



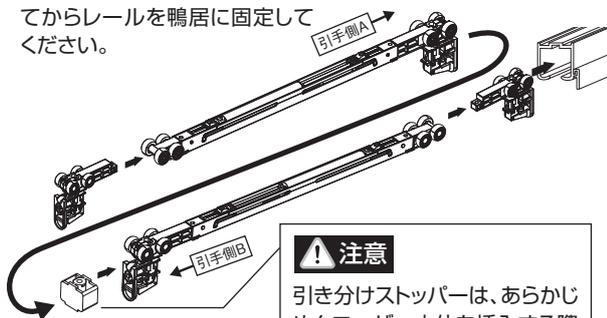
振れ止め金具取り付け位置
専用ビスでフローアに
固定してください。



両側ソフトクローズ 仕様 オプション

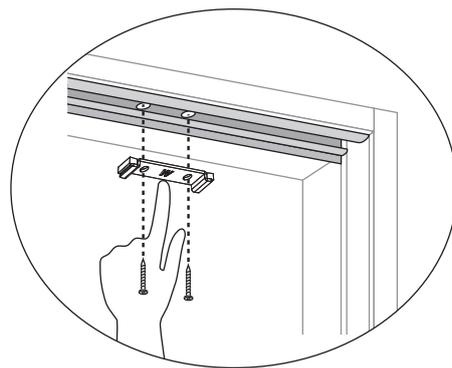
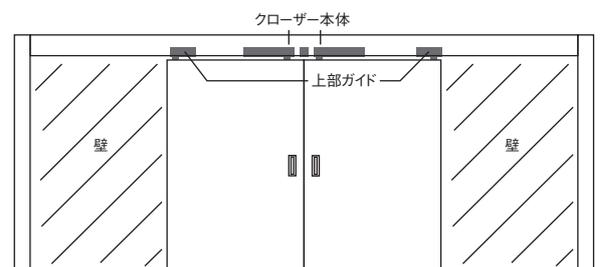
①クローザー本体とストッパー、レールの取り付け

レールにクローザー本体の引手側B→
ストッパー→引手側Aの順に挿入し
てからレールを鴨居に固定して
ください。



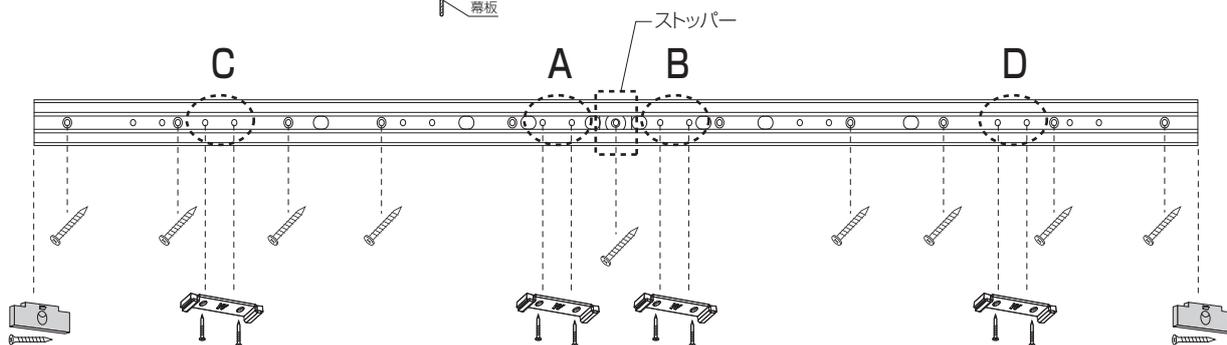
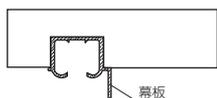
⚠ 注意

引き分けストッパーは、あらかじめクローザー本体を挿入する際にレール内に入れておき、レール鴨居取り付け後に、下図の位置にビスにて固定をお願い致します。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯
側に向けて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

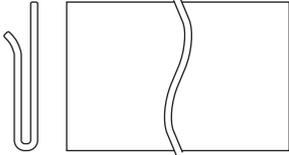
◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

オプション 幕板カバー

横形状

正面形状

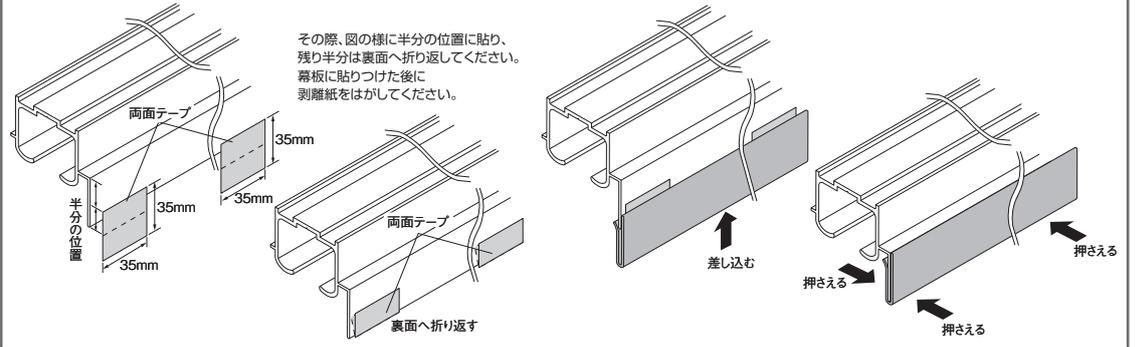


品番	引き戸用幕板カバー材	
品名	ZYFM18-□	ZYFM36-□
サイズ	1,800×20×3	3,600×20×3
備考	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ1シート 両面テープは 35×35mm6枚/1シート	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ2シート 両面テープは 35×35mm角6枚/2シート

取り付け方法

① 幕板に付属の両面テープを貼ります。
(レールの両端に貼り、あとは均等に貼ってください。)

② 幕板カバーの長さをカットし、幕板に差し込み、全体を指で押さえて
両面テープにしっかり固定してください。



WOODONE